



Title	語文 第66輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1996, 66
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68900
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

北の方では五月に入つてからも十数センチの積雪があったといふ。関西でも四月に降雪があった。いわゆるニュータウンに住んでいるが、周辺には農地があり、「おばちゃん、今年の苗どう思う」とつぶやく農業者の言葉を耳にした。少し前の米不足が思い出され、農業政策の危うさを思つてしまふ。

ようやく初夏に近づくことを感じさせる気温となつた。この四月から、文学部では本格的にセメスター制が導入され、国語国文学研究室でも、半数近くが、通年のものではなくなつた。演習など教員の側も学生も戸惑いがちだが、寒い春が終わるころとなつてようやく落ち着いて来たようと思われる。一年たつて効果や問題点を考えることにならう。

不都合があつてやや混乱したが、各分野にわたつて四つの論文を掲載することができた。投稿の方も引き続きお待ちしています。なお、会員の方で御著書などを発刊された節は、研究室に御寄贈頂ければ幸いです。紹介・批評などの形で広く江湖に伝えたく思います。

(出原隆俊)

語文 第六十六輯

平成八(一九九〇)年六月二十日 印刷
平成八(一九九〇)年七月一日 発行

編集者 大阪大学国語国文学会

〒560 大阪府豊中市待兼山町一一五

大阪大学文学部国語学国文学研究室

代表 前田富祺

振替口座〇〇九四〇一四一一四六四一

電話 (〇六) 850-1511

印刷 天理時報社